

教育プログラム・コースの概要

大学名等	京都大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	ライフステージと多様なニーズに応じた外科治療、集学的診療を担う医療人養成						
対象者	医学専攻博士課程						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	ライフステージに応じて生じる多様なニーズは外科系のがん診療、集学的診療において多数存在する。精緻な外科治療、様々な比較的稀な疾患（神経内分泌性腫瘍など）の治療、整容性を考慮した局所療法、妊孕性を温存する治療法、個別化集学的治療法などを研究、探索し、若年者、高齢者のがん治療の改善に取り組むがん専門医療人を養成する。将来、新たな外科治療の創出や機器開発などを担えるがん治療専門医療人を養成する。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	京都大学医学部附属病院、先端医療機器開発・臨床研究センター、臨床研究総合センターなどで、分野横断的教育、研究の実施が可能、臨床試験の立案、実施が可能である。イメージガイド下手術、低侵襲性局所治療、ロボット、バイオマーカーの開発、AIなどの教育研究が可能である。腫瘍学コースなど充実した教育プログラムがある。						
指導体制	高い専門性を持つ外科医、呼吸器外科医、脳外科医、泌尿器科医を教育、養成できる専門教員は豊富で、各領域において、ライフステージに応じた多様なニーズに対して、的確に対応し研究指導が出来る環境は十分に整備されている。集学的診療、チーム医療について学ぶ機会、体制が準備されている。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	新たなエビデンスを創出できる研究者として大学、研究所、がん専門病院研究施設などでキャリアを積む。次世代のがん専門医療人材を育成する教育者としてのキャリアを大学、がん専門病院などで積む。各専門領域で専門医資格などの資格を取得する。						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医学専攻博士課程	4	4	4	4	4	20
	計	4	4	4	4	4	20